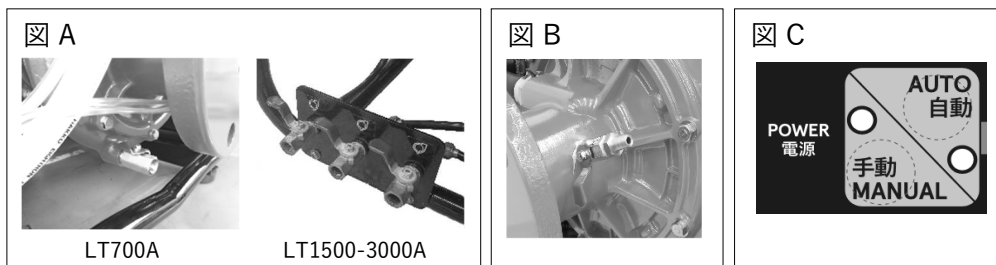


LT700/1500/2000/3000A 簡易取扱説明書

本紙は弊社設備用エンジンポンプ「LT700/1500/2000/3000A」をお使いいただくための簡易的な取扱説明書です。本機に付属する取扱説明書を使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「使用上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

1.始動（吸水・放水）

- ① 試験用配管で放水する場合は、事前に試験用配管にバルブを切り替えてください。
- ② 排水用ドレンバルブが閉じていることを確認してください。（下図 A）
- ③ 不凍液注入用バルブが閉じていることを確認してください。（下図 B）
- ④ スロットルダイヤルを放水時の設定位置に合わせてください。
- ⑤ オペレーションパネルの自動スイッチを押してください。（下図 C）
- ⑥ オペレーションパネル又はリモートコントロールボックスの始動スイッチを長押ししてください。エンジンが始動して放水を開始します。



2.停止・運転後の処置

- ① オペレーションパネル又はリモートコントロールボックスの停止・リセットスイッチを押してエンジンを停止してください。
- ② 排水用ドレンバルブを開けて完全に排水してください。排水後はドレンバルブを閉じてください。
- ③ 試験用配管を使用した場合は、本配管にバルブを切り替えてください。
- ④ オペレーションパネルの自動スイッチを押して自動待機状態にしてください。

3.メンテナンス

- ① 付属の自動充電器で常時バッテリーを充電してください。
- ② 燃料タンクにガソリンを満タンにしてください。
- ③ オイルタンクにトーハツ純正2ストロークエンジンオイルを補給してください。
- ④ 冬季は必要に応じて、不凍液の注入を実施してください。
(不凍液注入方法については、本機に付属する取扱説明書をご確認ください)

○定期点検表

下記項目に従って、必ず点検を実施してください。

点 検 箇 所	運 転 時 間 若 し く は 期 間	点 検 内 容	処 置	備 考
燃 料	使用後毎	燃料レベル	補給	
エンジンオイル	使用後毎	エンジンオイルレベル	補給	
ガバナ室オイル	50 時間毎/3 ヶ月毎	オイルレベルゲージにて点検	必要により補給	
燃料フィルタ	50 時間毎/6 ヶ月毎	フィルタ内汚れや水の有無	交換	○
燃料ホース	50 時間毎/6 ヶ月毎	損傷、接続部の漏れ	交換	○
スパークプラグ	50 時間毎/1 ヶ月毎	汚損状態やギャップ	清掃・修正又は交換	
スタータロープ	50 時間毎/6 ヶ月毎	摩耗、破損	交換	○
バッテリー	1 ヶ月毎	電圧	必要により交換	
真空ポンプVベルト	100 時間毎/1 年毎	摩耗、亀裂、延び	交換	○
真空ポンプストレーナ	使用後毎	メッシュの目詰まり、破れ	清掃又は交換	
冷却水通路 (LT1500-3000A)	100 時間毎/1 年毎	水温、水量	必要により交換	○
ポンプ関係	50~100 時間毎/1 年毎	性能確認	必要により交換	○
放水バルブ関係	50~100 時間毎/1 年毎	真空漏れ、ハンドルの開閉重さ	必要により交換 専用オイル充てん	○
圧縮圧力	300 時間毎/3 年毎	標準圧縮圧力	必要により交換	○
ランプ類	使用後毎	点灯	交換	
全部品	300 時間毎/3 年毎	オーバーホール	必要により交換	○

・備考欄に○印を付した項目については、販売店に依頼してください。

・運転時間若しくは期間は、先に到達した方で実施してください。

○定期交換部品表

推奨する定期交換部品を下表に示します。

なお、定期交換部品の推奨交換期間は部品の保証期間ではありません。使用状況により交換時期が前後することがあります。

部品名称	推奨交換期間	発生不具合
スパークプラグ	1 年	電極の消耗による始動不能
燃料ホース	2 年	劣化による燃料漏れ
バッテリー	2 年	寿命
オイルパイプ	3 年	劣化によるオイル漏れ
真空ポンプVベルト	3 年	摩耗によるスリップ
その他のゴム類	2 年	劣化による機能低下
スタータロープ	3 年	摩耗による切れ
燃料フィルタ	3 年	ゴミ詰まり、水混入による始動不能
放水バルブ逆止弁（ゴム）	3 年	摩耗、劣化による機能低下
メカニカルシール	3 年	摩耗による吸水不能
真空ポンプベーン	3 年	摩耗による吸水不能